

【団体名】 橋目みどりの会

【事業名】 地域の生物多様性を再生させる環境向上事業

「めだか」の生息できる環境の再生、「ほたるの里」づくり

【事業の目的】

地域内に生物の多様な環境を取り戻し、「めだか」や「ほたる」の生息できる環境再生を図り、住民や子供たちの環境学習ができる水路などを構築し、憩い場をつくる。

【実施内容】

5月16日に会員にて水路の水質改善のために、生活排水の分離工事を実施し、水路への生活排水の流入を止めた。



8月23日に「自然農法」で進めている田んぼで生き物の観察会を開催し、地域住民と保育園児32名で生き物を確認した。

10月3日に水質の向上改善事業の効果を確認し、自然環境の大切さを理解してもらうために、自然観察会を実施し、市民親子と地元会員96名により水質調査の体験や生き物観察を行った。

3月28日に自然観察会を開催し、市民29名で明治用水造営林、県有林の間伐体験や三河湖からダム、頭首工施設、水と故郷と町までの水路を視察し、水の大切さを学んだ。



【成果】

水路への生活排水を止めるため生活排水の分離工事をし、水質調査により水質向上が確認でき、「めだか」の生息できる環境と水質向上を図ることがほぼ完了できた。また、親子市民とのコミュニケーションを図りながら、無農薬による生き物の観察や水質調査体験、水の故郷と町までの水路の視察を通し、環境の大切さや水の大切さを知ってもらえた。

